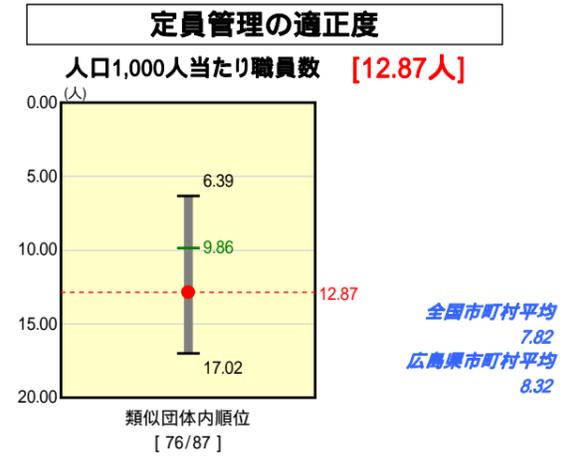
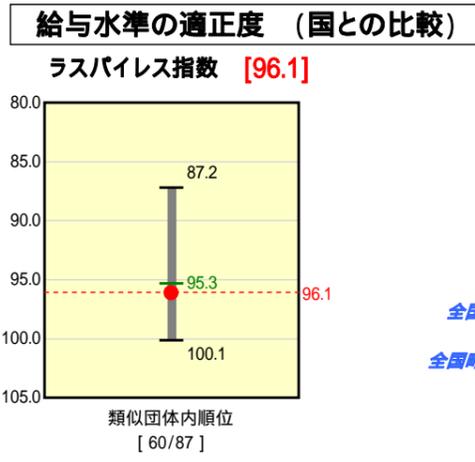
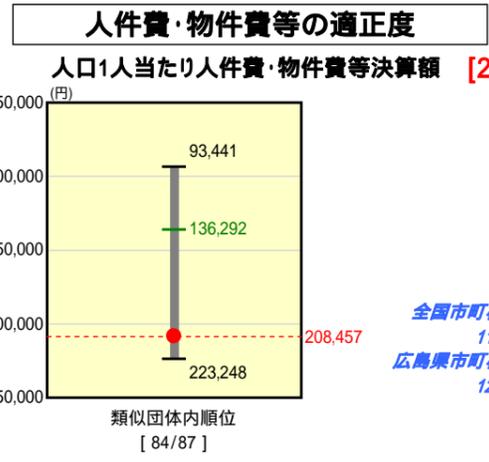
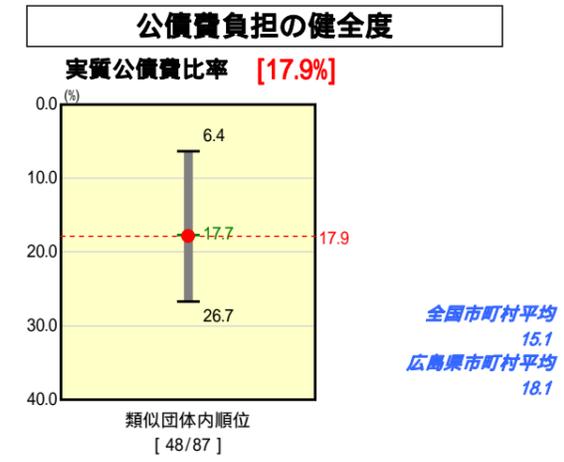
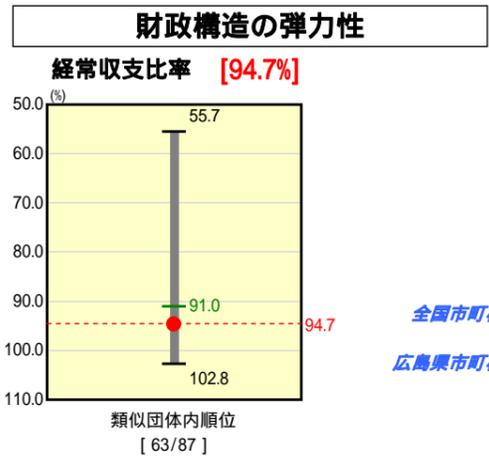
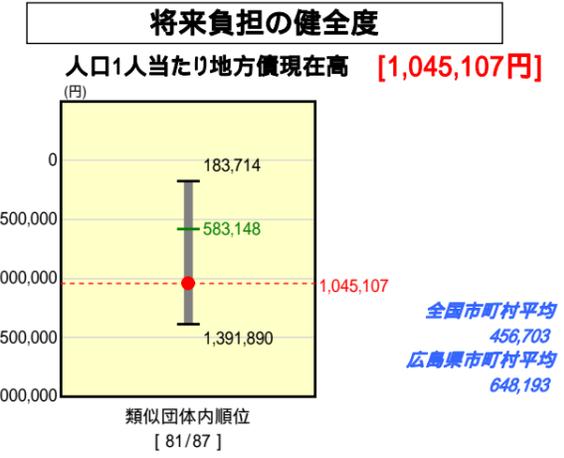
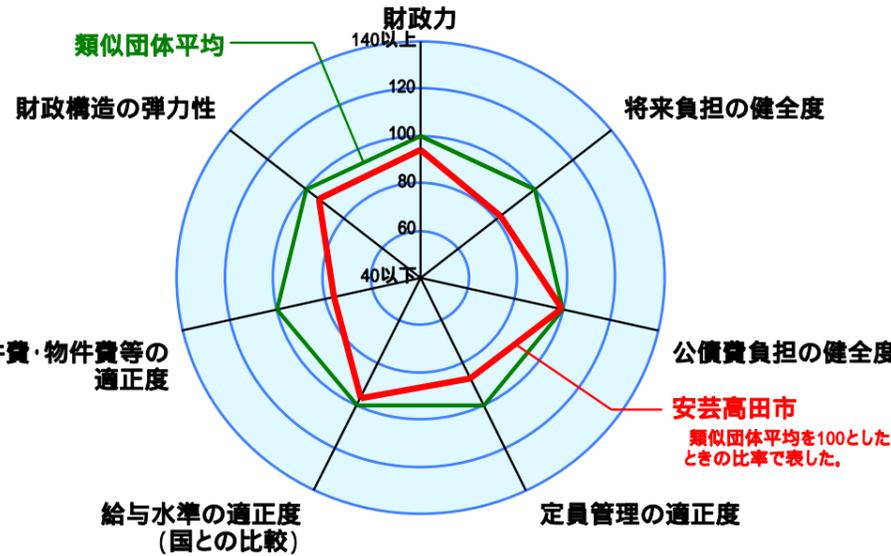
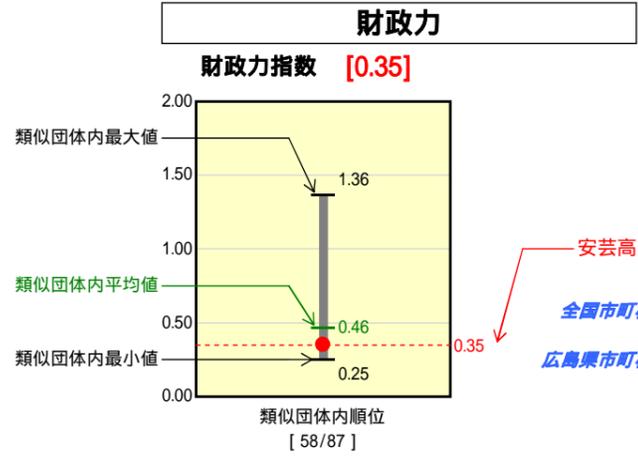


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 広島県 安芸高田市

人口	33,251	人(H19.3.31現在)
面積	537.79	km <sup>2</sup>
歳入総額	22,184,463	千円
歳出総額	21,870,116	千円
実質収支	204,651	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
 ・人口の減少による過疎化が進むなか、数値は0.02ポイント増加し0.35となったが、依然として財政基盤は弱く、類似団体平均を下回っている。今後は退職者不補充による職員数の削減、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の見直しと、税収の徴収率向上対策、使用料等の見直しによる歳入確保に努め、行政の効率化と財政の健全化を図る。

**【経常収支比率】**  
 ・職員の新規採用の凍結、歳出経費の節減等により、人件費及び物件費等は減少したが、公債費と繰出金が増加したため、数値は昨年と同率の94.7%となり、類似団体平均を上回っている。今後はしばらくの間、公債費と繰出金の増加が見込まれることから、より一層の経費削減に努める。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
 ・類似団体と比較して金額が上回った要因としては、合併により一部事務組合が市の直営となり職員が増加したこと、また、市内に多数点在する、類似施設の維持管理経費の増加が考えられる。今後は組織の見直し、退職者不補充等による人件費の抑制を図るとともに、施設の民間委託、整理統合も視野に入れた適正管理に努める。

**【ラスバイレス指数】**  
 ・ラスバイレス指数は、96.1と前年より3.3ポイント低下した。しかしながら類似団体平均の95.3を、0.8ポイント上回っており、依然として高い水準にある。昨年度に引き続き平成20年度も、給与抑制措置(基本給1～6%カット)を実施することとし、給与制度全般を見直すこと等により、より一層の給与の適正化と縮減に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
 ・類似団体平均を大きく上回っている。合併前後の投資的事業の重点実施により、地方債の発行額が増加したことが大きな要因となっている。義務的な経費の削減を中心とする行財政改革を着実に進めるとともに、後世への負担を軽減するため新規発行債の抑制を行い、より一層の財政の健全化に努める。

**【実質公債費比率】**  
 ・普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い比率が上昇し、類似団体平均を0.2ポイント上回っている。既に借入を行っている起債の元利償還金が多額であるため、短期間での急速な改善は望めないが、高利な資金の繰上償還や借換え、新たな起債の借入の抑制を行いながら数値の改善を図る。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
 ・合併以降、新規採用の凍結などに取り組んできたが、人口千人当たり職員数は、12.87人と類似団体平均数の9.86人に比べて、大きく上回っており更なる削減が必要である。今後、毎年20名前後の退職者が見込まれるが、しばらくの間、消防職を除き原則職員補充は行わず、新たな定員適正化計画及び集中改革プランに沿った事業の見直し等により、より適切な定員管理に努める。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。